

# 薬学領域における発表論文の二次資料への 収録状況調査\*

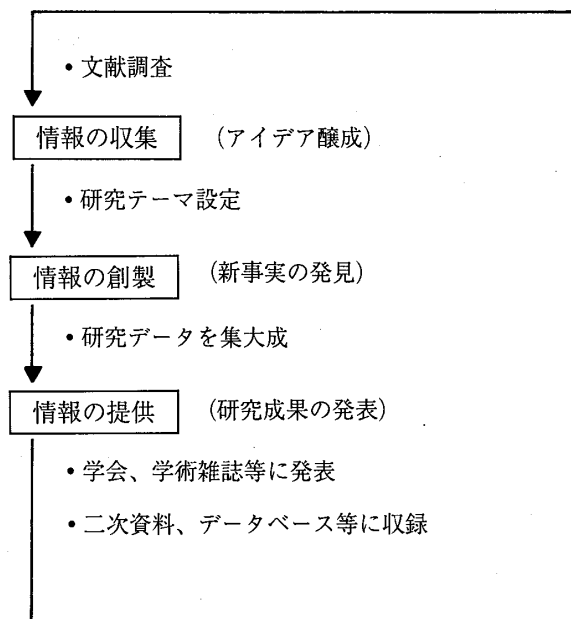
野口俊作、藤井亜由美

## はじめに

われわれ研究者の発表した学術論文が、多数の研究者の目にふれ、そのオリジナリティが評価されるとともに、それらが世界の学術レベルの向上に貢献してほしいとは、誰しも望んでいるところである。

研究の過程を情報活動の面から眺めると図1のようになる。研究者は過去の情報を利用して研究活動を行い、独創的な情報を生産し、その成果を発表する。この中でとくに重要なことは、研究成果の情報伝達であり、その情報が的確かつ速やかに、しかもできるだけ多くの研究者に伝達されることが望ましい。

図1 研究と情報活動のサイクル



\* 日本薬学会第108年会において発表

研究成果の情報伝達は、通常、学術雑誌(一次資料)に研究論文を発表することによってなされるが、できるだけ多くの研究者の目にふれるためには、それら発表論文の情報が、さらに抄録誌や索引誌(二次資料)あるいはデータベースなどに収録され、ひろく提供されることが必要となる。

## 調査目的

今回著者らは、薬学領域の研究において、

1. われわれの発表した研究論文の情報は、二次資料を通じて、他の研究者にどの位ひろく伝達されているか。
2. その情報は果して正確に伝えられているか。
3. 自分の研究分野の学術情報を入手しようとする場合、どのような二次資料を利用したらよいか。

等のことを把握することを目的として、福山大学薬学部教員により発表された論文を対象として、二次資料への収録状況を調査した。

発表論文の二次資料への収録状況を調査した報告として、収録雑誌を中心としたもの<sup>1-9)</sup>索引付与数を中心としたもの<sup>10)</sup>等があるが、今回の調査は薬学領域における発表論文を対象とし、個々の論文ごとに収録状況を調査し、さらに収録記事の質的評価の調査まで行ったものである。

## 調査方法

### 1)調査対象論文

薬学領域における発表論文として、福山大学薬学部教員によって1985年に発表された研究論文を調査対象とした。これら論文は「福山大学薬学部研究年報第4号(1986)」にそのリストが掲載されており、この中から総説を除いた全論文36編について、二次資料への収録状況調査を行った。

### 2)二次資料

収録状況を調査した薬学領域の二次資料は表1の5種(CA, BA, IM, IPA, 科文速)である。

発表論文がこれら二次資料に掲載されているか否かは、それぞれの巻末あるいは号末の著者索引の調査によったが、索引発行が調査に間に合わない場合には対応するデータベースの著者名によるオンライン検索によった。

表1 薬学領域における主な二次資料

誌名	略称	種別 刊行頻度	発行国	主題分野	収録対象資料	年間収録 件数	対応 データベース
Chemical Abstracts	CA	抄録誌 週刊	米国	化学	雑誌14,000誌 特許、会議録	500,000件	CA Search
Biological Abstracts	BA	抄録誌 半月刊	米国	生物学	雑誌 9,000誌	250,000件	BIOSIS
Index Medicus	IM	索引誌 月刊	米国	医学	雑誌 3,000誌	280,000件	MEDLINE
International Pharmaceutical Abstracts	IPA	抄録誌 半月刊	米国	薬剤学	雑誌 700誌	12,000件	—
科学技術文献速報 (ライフサイエンス編)	科文速	抄録誌 旬刊	日本	生物学、 医学、薬学、 農学	雑誌 2,000誌 会議録等	120,000件	JICST

### 3) 調査項目

1. 各二次資料への収録率(雑誌別、研究分野別)
2. 収録の重複性
3. 論文発表から二次資料収録に至るまでのタイムラグ
4. 収録記事の比較・評価

## 調査結果

### 1. 発表論文の二次資料への収録率

#### (a) 雑誌別収録率

研究論文の雑誌別発表数及びそれらの二次資料別収録数は表2に示したとおりである。また、雑誌を国内誌と外国誌に大別して収録率をみた結果が表3である。

表2 雑誌別発表論文数および二次資料別収録数

雑誌名	発行国	発表論文*	二次資料別収録数				
			CA	BA	IM	IPA	科文速
Anal. Sci.	JPN	1	1				1
Chem. Lett.		1	1				
Chem. Pharm. Bull.		6	6	4	2		4
Heterocycles		1	1				1
Jpn. Heart J.		1	1	1	1		1
Jpn. J. Cancer Res.		1	1	1	1		1
J. Antibiot.		1	1				1
J. Pharmacobio-Dyn.		3	3	3	3		3
国内誌 小計		15	15	9	7		12
J. Histochem. Cytochem.	USA	1	1	1	1		
J. Neurochem.		1	1	1	1		
Org. Prep. Proced. Int.		1	1				
Proc. Natl. Acad. Sci. USA		1	1	1	1		1
Science		1	1	1	1		1
Can. J. Cardiol.	CAN	2	1	1	1		
Biochem. Pharmacol.	GBR	3	3	3	1		2
J. Pharm. pharmacol.		1	1	1		1	1
Life Sci.		1	1	1	1		1
Neuropeptides		1	1		1		
Arzneim.-Forsch.	DEU	1	1		1		1
Chromatographia		1	1	1			1
Histochemistry		1	1	1	1		1
Planta Med.		1**					
Bioelectrochem. Bioenerg.	NLD	1	1	1			
J. Chromatogr.		1	1	1	1		1
Experientia	CHE	1	1		1		1
Arch. Int. Pharmacodyn. Ther.	BEL	1	1				1
外国誌 小計		21	19	14	12	1	12
合計		36	34	23	19	1	24

\* 発表言語はすべて英語

\*\* 上記5種の二次資料のいずれにも未収録

表3 雑誌別収録率

論文発表雑誌	発行論文数	二次資料別収録率(収録数)				
		CA	BA	IM	IPA	科文速
国内誌	15	100% (15)	60% (9)	47% (7)	0% (0)	80% (12)
外国誌	21	90% (19)	67% (14)	57% (12)	5% (1)	57% (12)
合計	36	94% (34)	64% (23)	53% (19)	3% (1)	67% (24)

発表論文総数 36 (国内誌に発表分 15、外国誌に発表分 21) についての収録率は CA が 94% と群を抜いて高く、以下科文速 67%、BA 64%、IPA 3% の順であった。国内誌

と外国誌の間の収録率の差はほとんどないとみなしてよいと思われる。

(b) 研究分野別収録率

発表論文の研究分野別収録数及び収録率を表4、図2で示した。研究分野の区分は日本薬学会年会の研究部会別区分に準拠した。

表4 研究分野別収録数

研究分野	発表論文数	二次資料別収録数				
		CA	BA	IM	IPA	科文速
物理化学	1	1				
有機化学	3	3				1
医薬品化学	2	2	1			2
生薬・天然物化学	2	1		1		1
分析化学	4	4	2	1		2
生物化学	7	7	7	6		5
衛生化学	1	1	1	1		1
微生物学	1	1	1	1		1
薬剤学	6	6	6	4	1	5
薬理学	9	8	5	5		6
合計	36	34	23	19	1	24

図2 研究分野別収録率

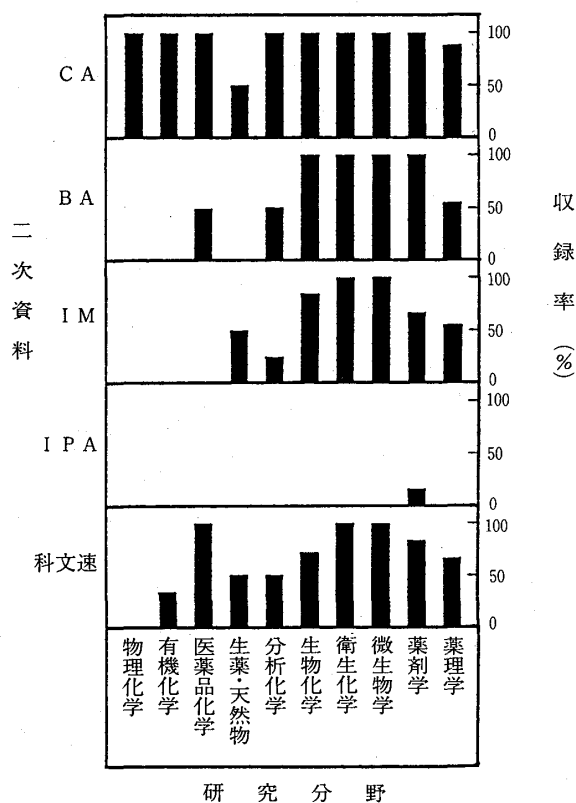


図2からCAは薬学領域のほぼ全分野をカバーし、収録も網羅的であり、第一選択の二次資料といえる。BA, IMは物理化学、有機化学関連の分野以外はすべてカバーしており、一方、科文速は物理化学以外の全分野をカバーし、薬学分野の収録率ではBA, IMに劣らない二次資料といえる。IPAは薬剤学分野の二次資料であるが、収録率がきわめて低く、文献の採録基準も明確でなかった。Chem. Pharm. Bull. 誌をはじめ主要雑誌は、IPAの収録対象誌に入っているにもかかわらず収録件数の少ないのは、雑誌によって文献の採録に片寄りがあるためと思われる。

なお、薬理学と生薬学の文献は網羅的に収録されている二次資料がなく、この分野の文献調査はCAのほかにBA, IM, 科文速など、できるだけ多くの二次資料の調査を併用しないと調査もれになるおそれがある。

## 2. 二次資料収録の重複性

IPAは収録率がきわめて低いので、IPAを除くCA, BA, IM, 科文速4誌について収録の重複性を調べた結果を表5に示した。

表5 二次資料収録の重複性

CA, BA, IM, 科文速 4誌に収録	11件	4誌に収録 31%
CA, BA, IM 3誌に収録	3	3誌に収録 33%
CA, BA, 科文速	7	
CA, IM, 科文速	2	
CA, BA 2誌に収録	1*1	
CA, IM	3*2	
CA, 科文速	4*3	
CA, 1誌に収録	3*4	1誌に収録 11%
BA	1*5	
いずれにも未収録	1*6	未収録 3%
合計	36件	100%

\*1 分析化学1件, \*2 分析化学1件, 薬理学2件

\*3 有機化学1件, 医薬品化学1件, 分析化学1件, 薬理学1件

\*4 物理化学1件, 有機化学1件, \*5 薬理学1件, \*6 生薬学1件

未収録あるいは1~2誌のみに収録といった文献は物理化学、有機化学、生薬学、分析化学、薬理学に集中しており、とくに生薬学と薬理学の文献は網羅的に収録されている二次資料が見当らず、この分野の文献調査は前述のようにできるだけ多くの二次資料を併用して調査もれを防ぐ必要があると思われる。

### 3. 論文発表から二次資料収載に至るまでのタイムラグ

発表論文の内容はできるだけ速やかに抄録誌や索引誌などの二次資料に収録されることが望ましい。二次資料収録に至るまでのタイムラグを国内誌と外国誌に大別して調べ、図3に二次資料別タイムラグの分布を、表6に二次資料別平均タイムラグを示した。

図3 タイムラグの分布

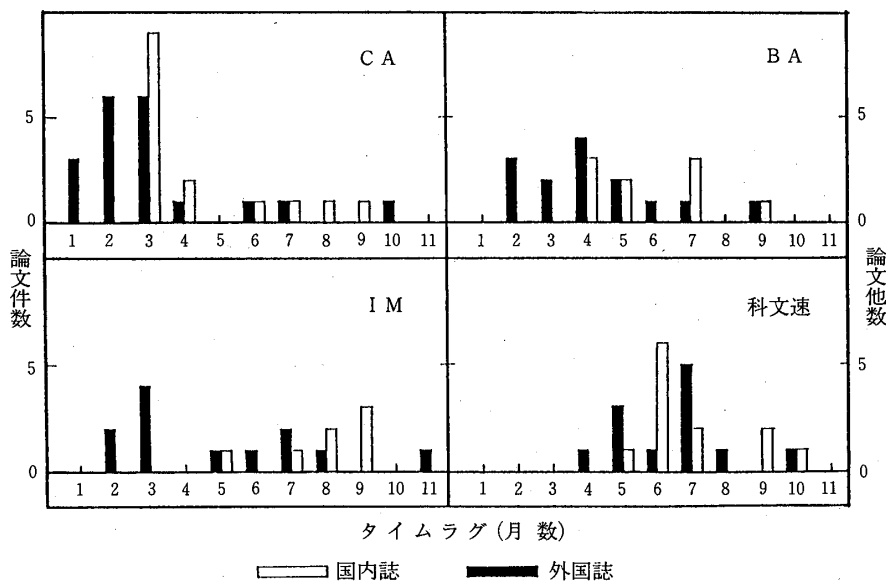


表6 平均タイムラグ(月数)

	CA	BA	IM	IPA	科文速
国内誌発表論文	4.3	5.8	7.9	—	6.9
外国誌発表論文	3.2	4.3	5.0	11	6.5
平均タイムラグ	3.7	4.9	6.1	11	6.7

平均タイムラグ(月数)は、CA3.7、BA4.9、IM6.1、科文速6.7、IPA11の順であったが、この中でIMは外国誌に比べて国内誌の遅れがとくに目立った。IPAの遅れは非常に大きく、これは1985年発表分だけでなく1984年発表分も同様な結果であった。

### 4. 収録記事の評価

索引誌であるIMには抄録はなく書誌事項のみであるが、他の4種の二次資料は抄録誌であり抄録が記載されている。その抄録内容が研究成果の情報を的確に伝えているかどうか

か、研究者として関心のあるところである。

今回の収録記事の調査では、書誌事項(標題、著者、所属、雑誌名、巻、号、頁等)のチェックのほか、とくに抄録内容の質的な評価も行った。抄録の質的な評価は正確を期すため、研究内容を一番よく知っている論文著者自身に依頼した。評価はA(よくできている)、B(まあまあ)、C(不満足である)の3段階とした。

表7にその結果を示したが、抄録の評価は原報の英文著者抄録の転載が多いCA, BAにおいて高く、邦文への翻訳を必要とする科文速において低いのは、大方の予測どおりであった。しかし、抄録内容に比較的大きなミスがあると指摘されたものがCA 3件、BA 3件、科文速 7件に及び、またBAにおいては書誌事項等の記載ミスの指摘が10件もあり、抄録者、校正者になお一層の努力を期待したい。

表7 抄録誌記事の評価

二次資料		CA	BA	IPA	科文速
評価					
記事の総合評価*	A	23件	16件	1件	3件
	B	10	7	0	15
	C	1	0	0	6
抄録の誤り		3	3	0	7
書誌事項等の誤り		0	10**	0	1***

\* A:よくできている、B:まあまあ、C:不満足である。

\*\* 所属2件、著者2件、巻・頁3件、その他3件

\*\*\* 発行国1件。

## 5. オンライン文献検索との関係

最近、オンライン情報検索がますます普及し、オンライン文献検索と二次資料を用いるマニュアル検索とは相互補完的な状況にあるといえる。両者の情報内容、情報量等を比較するため、同一文献について各二次資料の記事と対応するデータベースの記事の内容を図4に示した(CA Searchは、現在JOISからSTNへ移行している)。

今回調査した発表論文の二次資料への収録状況は、そのまま対応するデータベースへの収録状況と違って差しつかえない。従って、今回の調査結果は薬学領域の文献のオンライン検索の際にも十分考慮すべきものと思われる。



図4 二次資料と対応データベース(J O I S から出力)の記事

103:153795h Insulin-like activity of proteases. IX. Effect of an N-succinyl-L-trialanine p-nitroamido-hydrolyzing protease from *Pronase* on glucose metabolism in mice. Ueki, Hiroshi; Motoshima, Aiichiro; Funakoshi, Takayuki; Shoji, Shozo; Kubota, Yukiho (Fac. Pharm. Pharm. Sci., Fukuyama Univ., Fukuyama, Japan 729-02). *J. Pharmacobiodyn.* 1985, 8(5), 344-51 (Eng). The effect of an N-succinyl-L-trialanine p-nitroamido-hydrolyzing protease (STA-protease) purified from *Pronase* [9036-06-0] E on glucose [50-99-7] metab. was investigated after i.v. injection into fasted mice. The max. decrease in blood sugar by STA-protease was obsd. 2 h after the injection of 5.0 mg/kg. Hypoglycemic activity was also caused by other microbial proteases, such as *Pronase* E and *subtilisin* [3014-01-1] BPN, whereas no activity was given by any of these enzymes after modification with diisopropyl fluorophosphate or guanidine-HCl. The increase in blood sugar level by epinephrine and the conversion of pyruvate to blood glucose were suppressed by STA-protease, as well as by 5-methoxyindole-2-carboxylic acid (MICA), an inhibitor of gluconeogenesis. A slight increase in glycogen [9005-79-2] content in the diaphragm was obsd. 2-4 h after the injection of STA-protease; *insulin* [9004-10-8] had a greater effect. In glucose tolerance tests, the increase in blood sugar was suppressed by insulin but not by STA-protease. Blood lactate level was not changed by STA-protease, in contrast to the action of MICA. The serum insulin level was not affected by STA-protease. Therefore, STA-protease may affect the *in vivo* metab. of glucose in a different way from its action *in vitro*, where it has been reported to react with the cell surface and consequently to mimic the actions of insulin.

Chemical Abstracts  
Vol.103, No.19  
(1985.11)

107245. UEKI, HIROSHI\*, AIICHIRO MOTOSHIMA, TAKAYUKI FUNAKOSHI, SHOZO SHOJI and YUKIHO KUBOTA. (Fac. Pharm. and Pharm. Sci., Fukuyama Univ., 955 Higashi-muramachi, Fukuyama, Hiroshima 729-02, Jpn.) *J. PHARMACOBIO-DYN* 8(5): 344-351, 1985. Effect of an N-succinyl-L-trialanine-p-nitroamido-hydrolyzing protease from *Pronase* on glucose metabolism in mice. —Effect of an N-succinyl-L-trialanine-p-nitroamido-hydrolyzing protease (STA-protease) purified from *Pronase* on glucose metabolism was investigated by an i.v. injection into fasted mice. The maximum decrease in blood sugar level by STA-protease was observed 2 h after the injection of a dose of 5.0 mg/kg. The hypoglycemic activity was observed with other microbial proteases, such as *Pronase* E and *subtilisin* BPN, whereas no activity was found with the modified enzymes which almost wholly lost their proteolytic activities by the treatment with DFP or guanidine HCl. The increase in blood sugar level by epinephrine and the conversion of [1-<sup>14</sup>C]pyruvate into blood glucose were distinctly suppressed with STA-protease as well as 5-methoxyindole-2-carboxylic acid (MICA), an inhibitor of gluconeogenesis. A slight increase in glycogen content in diaphragm of mice was observed during 2-4 h after the injection of STA-protease, though it was markedly increased by insulin. In test of glucose tolerance, the increase in blood sugar was distinctly suppressed by insulin, but not by STA-protease. Blood lactate level was not subjected to change by STA-protease, in contrast to MICA. Serum insulin level was not affected by STA-protease. STA-protease may affect the *in vivo* metabolism of glucose in a different way from the *in vitro* action which reacts with cell surface and mimics the actions of insulin.

Biological Abstracts  
Vol.80, No.12  
(1985.12)

**PRONASE ANALYSIS**  
Effect of an N-succinyl-L-trialanine p-nitroamido-hydrolyzing protease from *Pronase* on glucose metabolism in mice. Ueki H, et al. *J Pharmacobiodyn* 1985 May;8(5):344-51.

Index Medicus  
Vol.27, No.1  
(1986.1)

577,152 591.13:547.917 L85162478  
マウスのグルコース代謝に及ぼすプロナーゼから得たN-スチルラルニド-トリアラニンp-ニトロアミド加水分解プロテアーゼの効果  
Effect of an N-succinyl-L-trialanine p-nitroamido-hydrolyzing protease from *Pronase* on glucose metabolism in mice. Ueki H, MOTOSHIMA A (Fukuyama Univ.), FUNAKOSHI T, SHOJI S, KUBOTA Y (Kumamoto Univ.); S989A *J Pharmacobiodyn* (JPN) 8(5) 344-351(85)  
表記酵素(1)をマウスに投与すると、血中糖濃度が低下した。Iはアドレナリンによる血糖上昇を抑制し、<sup>14</sup>C-ピルビン酸の糖への交換を阻害した。インシュリンに認める耐糖能の改善やグリコーゲン含量増加の作用は、Iにはなかった。血清インシュリン濃度は、I投与によって変らなかった。要図3表4参33

科学技術文献速報  
(ライフサイエンス編)  
Vol.85, No.16  
(1985.11)

8001  
CN: CA10319153795  
TI: INSULIN-LIKE ACTIVITY OF PROTEASES. IX. EFFECT OF AN N-SUCCINYL-L-TRIALANINE-P-NITROAMIDE-HYDROLYZING PROTEASE FROM PRONASE ON GLUCOSE METABOLISM IN MICE  
AU: UEKI HIROSHI (FAC. PHARM. PHARM. SCI., FUKUYAMA UNIV., FUKUYAMA, 729-02, JAPAN); MOTOSHIMA AIICHIRO; FUNAKOSHI TAKAYUKI; SHOJI SHOZO; KUBOTA YUKIHO  
JN: JOPHI0 (0386-846X) J. PHARMACOBIO-DYN.  
VN: VOL.8 NO.5 PAGE 344-51 '85  
CI: (1) EN  
CC: CA1010, CA102  
KW: BIOLOGICAL STUDIES  
FT: METAB; COMPONENT: PROTEINASE; RESPONSE: COMPARISON; MUSCLE  
DR: 50-99-7; 9004-10-8; 9005-79-2; 9014-01-1; 9036-06-0

CA Search  
(ACS)

8001  
CN: 080107245  
TI: EFFECT OF AN N-SUCCINYL-L-TRIALANINE-P-NITROAMIDE-HYDROLYZING PROTEASE FROM PRONASE ON GLUCOSE METABOLISM IN MICE  
AU: UEKI H (FAC. PHARM. AND PHARM. SCI., FUKUYAMA UNIV., 955 HIGASHI-MURAMACHI, FUKUYAMA, HIROSHIMA 729-02, JPN.); MOTOSHIMA A; FUNAKOSHI T; SHOJI S; KUBOTA Y  
JN: (JOPHI) J PHARMACOBIO-DYN  
VN: 8 (5), 1985, P 344-351.  
KW: RADIATION BIOLOGY-RADIATION, ISOTOPE TECHNIQUES/CC06504; BIOCHEMICAL STUDIES-GENERAL/CC10000; BIOCHEMICAL STUDIES-NUCLEIC ACIDS-PURINES, PYRIMIDINES/CC1062; BIOCHEMICAL STUDIES-PROTEINS, PEPTIDES, AMINO ACIDS/CC10084; BIOCHEMICAL STUDIES-CARBOHYDRATES/CC10068; BIOPHYSICS-GENERAL TECHNIQUES/CC11054; ENZYMES-PHYSIOLOGICAL STUDIES/CC10408-1; METABOLISM-GENERAL/CC10044; METABOLISM-PATHWAYS/CC13002-1; METABOLISM-CARBOHYDRATES/CC13004-1; METABOLISM-PROTEINS, PEPTIDES, AMINO ACIDS/CC13012-1; METABOLISM-NUCLEIC ACIDS-PURINES, PYRIMIDINES/CC13014-1; ENDOCRINE SYSTEM-ADRENALS/CC17004-1; ENDOCRINE SYSTEM-HYPOPHYS/CC17018-1; ENDOCRINE SYSTEM-NEUROENDOCRINOLOGY/CC17020-1; MUSCLE SYSTEM-GENERAL STUDIES/METHODS/CC17501; MUSCLE SYSTEM-PHYSIOLOGY/OBSCHEMISTRY/CC17504-1; NERVOUS SYSTEM-GENERAL STUDIES/METHODS/CC20501; NERVOUS SYSTEM-PHYSIOLOGY/CLINICAL STUDY/CC20511; PHARMACOLOGY-DRUG METABOLISM/METABOLIC STIMULATORS/CC22003-1; PHARMACOLOGY-ENDOCRINE SYSTEM/CC22016-1; ROUTES OF IMMUNIZATION, INFECTION, THERAPY/CC22109-1; IN VITRO STUDIES-CELLULAR SURVIVAL/ARRESTED; NURTURE/CC63675  
FT: METABOLIC-DRUG 5 METHOXYINDOLE-2-CARBOXYLIC-ACID DPP INSULIN MIMIC SUBSTITIN BPN; EPINEPHRINE PYRUVATE GLYCOGEN GUANIDINE HYDROXYMETHYL DIAPHRAGM HYPOGLYCEMIC ACTIVITY PHARMACODYNAMICS RADIOLABEL

Biosis  
(Biosis)

8001  
CN: 86010818  
TI: EFFECT OF AN N-SUCCINYL-L-TRIALANINE-P-NITROAMIDE-HYDROLYZING PROTEASE FROM PRONASE ON GLUCOSE METABOLISM IN MICE.  
AU: UEKI H; MOTOSHIMA A; FUNAKOSHI T; SHOJI S; KUBOTA Y  
JN: 0386-846X J PHARMACOBIO-DYN  
VN: VOL.8 NO.5 PAGE 344-51 '85  
CI: (EN) (JPN) (1)  
KW: ALUMINUM SILICATES/PHARMACODYNAMICS; ANIMAL BLOOD GLUCOSE/ANALYSIS; GLUCOSE/METABOLISM; GLYCOGEN/ANALYSIS; INSULIN/BLOOD; INSULIN/PHARMACODYNAMICS; LACTATES/BLOOD; MALE; MICE; MICE, INBRED STRAINS; N-GLYCOPROTEIN/METABOLISM; \*PEPTIDE HYDROLASES/PHARMACODYNAMICS; \*PRONASE/ANALYSIS  
RN: EC 3.4. (PEPTIDE HYDROLASES); EC 3.4.24. (PRONASE); 12001-26-2 (MICA); 50-21-5 (LACTIC ACID); 50-99-7 (GLUCOSE); 52289-14-6 (SUCCINYL-TRIALANINE-4-NITROAMIDE); 9004-10-8 (INSULIN); 9005-79-2 (GLYCOGEN)  
AB: Effect of an N-succinyl-L-trialanine p-nitroamido-hydrolyzing protease (STA-protease) purified from *Pronase* on glucose metabolism was investigated by an intravenous injection into fasted mice. The maximum decrease in blood sugar level by STA-protease was observed 2 h after the injection of a dose of 5.0 mg/kg. The hypoglycemic activity was observed with other microbial proteases, such as *Pronase* E and *subtilisin* BPN, whereas no activity was found with the modified enzymes which almost wholly lost their proteolytic activities by the treatment with diisopropyl fluorophosphate or guanidine HCl. The increase in blood sugar level by epinephrine and the conversion of [1-<sup>14</sup>C] pyruvate into blood glucose were distinctly suppressed with STA-protease as well as 5-methoxyindole-2-carboxylic acid (MICA), an inhibitor of gluconeogenesis. A slight increase in glycogen content in diaphragm of mice was observed during 2-4 h after the injection of STA-protease, though it was markedly increased by insulin. In test of glucose tolerance, the increase in blood sugar was distinctly suppressed by insulin, but not by STA-protease. Blood lactate level was not subjected to change by STA-protease. In therefore, STA-protease may affect the *in vivo* metabolism of glucose in a different way from the *in vitro* action which has been reported to react with cell surface and consequently to mimic the actions of insulin.

MEDLINE  
(NLM)

8001 L85162478  
マウスのグルコース代謝に及ぼすプロナーゼから得たN-スチルラルニド-トリアラニンp-ニトロアミド加水分解プロテアーゼの効果  
Effect of an N-succinyl-L-trialanine p-nitroamido-hydrolyzing protease from *Pronase* on glucose metabolism in mice. Ueki H, MOTOSHIMA A (Fukuyama Univ.), FUNAKOSHI T, SHOJI S, KUBOTA Y (Kumamoto Univ.); S989A *J Pharmacobiodyn* (JPN) 8(5) 344-351(85)  
表記酵素(1)をマウスに投与すると、血中糖濃度が低下した。Iはアドレナリンによる血糖上昇を抑制し、<sup>14</sup>C-ピルビン酸の糖への交換を阻害した。インシュリンに認める耐糖能の改善やグリコーゲン含量増加の作用は、Iにはなかった。血清インシュリン濃度は、I投与によって変らなかった。要図3表4参33  
EU02035H (577,152, 591,13:547,917)  
プロテアーゼ(1)の効果をマウスに投与すると、血中糖濃度が低下した。Iはアドレナリンによる血糖上昇を抑制し、<sup>14</sup>C-ピルビン酸の糖への交換を阻害した。インシュリンに認める耐糖能の改善やグリコーゲン含量増加の作用は、Iにはなかった。血清インシュリン濃度は、I投与によって変らなかった。要図3表4参33  
(N スチルラルニド加水分解プロテアーゼ)

JICST  
(JICST)

考 察

薬学領域における発表論文の二次資料への収録状況を、福山大学薬学部教員による発表論文(1985年)を対象として調査し、各二次資料の収録特性を明らかにすることができた。発表論文総数36(国内誌に発表分15、外国誌に発表分21、発表言語はすべて英語)についての収録率(%)はCA94、科文速67、BA64、IM53、IPA3、タイムラグ(月数)はCA3.7、BA4.9、IM6.1、科文速6.7、IPA11であった。また著者自身による抄録の評価は、英文著

者抄録の転載が多いCA、BAにおいて高く、邦文への翻訳を必要とする科文速において低かった。またBAにおいては書誌事項等の校正ミスが目立った。抄録、校正になお一層の向上を期待したい。

文献調査の立場からみた場合、CAは化学分野のみならず薬学領域のほぼ全研究分野をカバーし、採録の網羅性、的確性、迅速性ともに優れた抄録誌であり、索引が完備していることとあわせ、文献調査には第1選択の抄録誌であることを再認識した。

科文速は日本で刊行される最大の抄録誌であり、全収録誌数、全収録件数ではBA、IMに及ばないものの、薬学領域の研究分野に限った場合、収録件数、収録率等はBA、IMに比べて劣らない二次資料であることがわかった。

IPAは収録件数が少なく、その採録基準も明確でない、またタイムラグも大きい、等の点が気になった。

なお、今回の調査から、薬理学及び生薬学の分野の文献調査は、CAのほかにBA、IM、科文速など、できるだけ多くの二次資料を調査しないと調査もれを生じるおそれのあることが推定された。

## 文 献

- 1) 丹信全：情報科学技術研究集会発表論文集 23, 105 - 110 (1987)
- 2) 近藤英子ら：医学図書館 32, 121 - 146 (1985)
- 3) Tonosaki, M. : オンライン検索 6, 101 - 112 (1985)
- 4) Tonosaki, M. : オンライン検索 6, 63 - 72 (1985)
- 5) 村山隆雄：科学技術文献サービス 68, 20 - 25 (1984)
- 6) 村上隆雄ら：科学技術文献サービス 65, 18 - 26 (1983)
- 7) 村上隆雄ら：科学技術文献サービス 63, 23 - 30 (1983)
- 8) 藤野芳枝ら：科学技術文献サービス 56, 15 - 28 (1981)
- 9) 寺村由比子ら：科学技術文献サービス 54, 11 - 18 (1980)
- 10) 岡千穂美ら：医学図書館 33, 316 - 326 (1986)